

必要な道具

食べる機能が低下してしまったご高齢の方に対し、その状態に適した口腔清掃用具や食器・食具などが必要になるケースがあります。

それぞれの利用者様の様子を確認してお勧めいたしますが、衛生面の理由などから購入をお願いすることがあります。

口腔衛生に関する道具

歯ブラシや舌ブラシ、義歯ブラシ、義歯洗浄剤などの口腔清掃用具は、利用者様個々人のお口の状態によって必要なものが異なります。

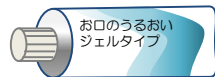
お口の状態を確認した歯科医師や歯科衛生士から説明させていただきます。



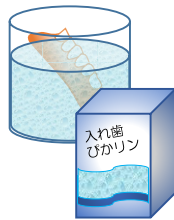
◀歯肉から血が出る方は柔らかめの歯ブラシ、手の力が弱い方にはグリップの太い歯ブラシが適しています。



◀入れ歯には入れ歯専用の義歯ブラシが適しています。必ずお口から取り出して洗います。歯磨き粉は義歯が劣化しますので使用しません。



▲お口が乾燥する方には、お口のうるおいを維持する口腔内保湿ジェルを使用します。



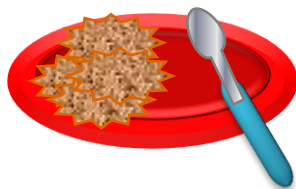
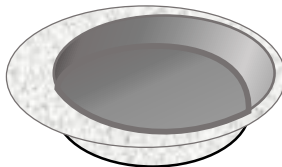
◀泡の出る入れ歯の洗浄剤は、カビの繁殖を予防する酵素が入っているものもあります。

食事に関する道具

ご病気により動作の不自由があったり、姿勢を保つことが難しくても、食事を楽しめるように、様々な自助食器・食具があります。

利用者様個々人の視力や運動機能などに合わせて、使い方も含めて提案させていただきます。

▶角度が付いていてすくい取りやすい食器



◀食欲の出やすい色の食器
グリップの太いスプーンなど

必要なもののリスト

歯ブラシ

このパンフレットは介護保険施設に入所されることになった利用者様のご家族のための、経口摂取支援に関する情報提供パンフレットです。

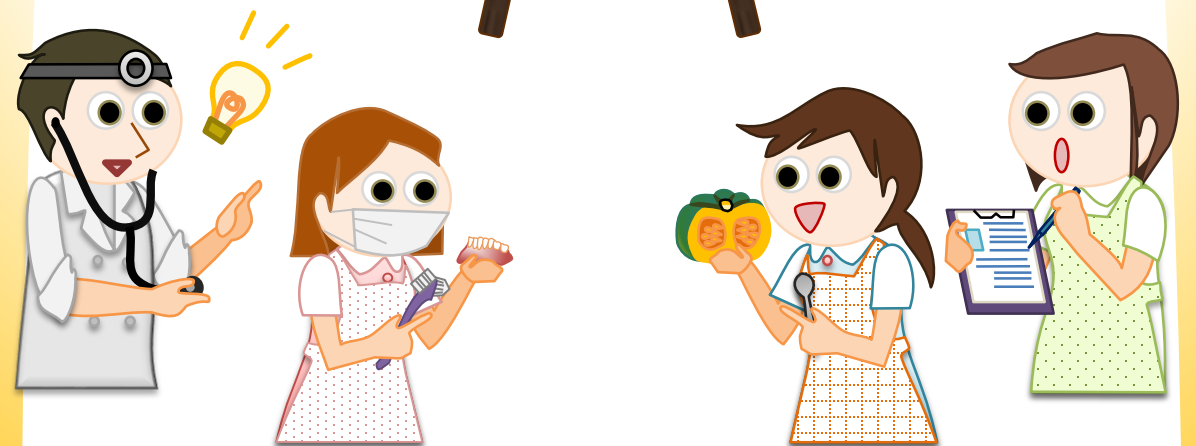
施設情報・問い合わせ



様のご家族様への

お食事に関するサポートのご説明

療養中の利用者様の状態と多職種で行う経口摂取支援について



はじめに

ご高齢の方は、病気療養中や入院中などで病気の治療が優先される環境にあると、環境や一日のリズム、お薬の変化などのさまざまな変化や、なにより病気の影響で、楽しく美味しく、かつ安全に食事が食べられなくなってしまうことがあります。

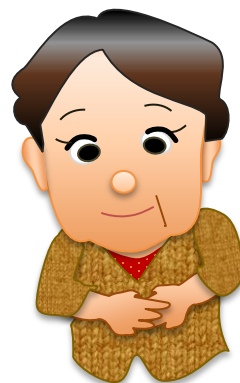
当施設では、たくさんの職種が利用者様の楽しく美味しい、そして安全な食生活を支えるお手伝いをしています。

たとえば利用者様のお口の中に痛みがあったり、お口の湯き、咬みにくさ、飲み込みづらさなどで、お食事を食べにくくなる場合があります。利用者様のお身体の変化に合わせて、私たちから様々な支援をご提案させていただきます。

すこしでも効果的な食生活の支援を行うためには、利用者様のご希望を現実に近づけ生活の質を高めることが大切です。なにより大切なのは、ご家族にもチームの一員になって頂くことです。チームの一員として、利用者様のいつもの食習慣、食べ物の好み、苦手な食べ物や嗜好、入れ歯の様子やお口の中の気になることなど、お口の環境整備に関することを私たちに教えてください。些細なことでも構いませんので、お気軽にお話しください。

一緒に食生活の支援を支えましょう！

ご家族として、様の食について
どんなご希望がありますか？



多職種による経口摂取支援とは

ご本人の希望は

こんなものが食べたいな



言語聴覚士

嚥下機能を判断し、訓練や安全な食べ方などの提案をします

看護師

お身体の状態に合わせた食事やお薬を飲む援助をします

医師

摂食嚥下機能の評価や病態に見合ったアドバイスをします

介護福祉士

毎日の様子を観察しながら食事の援助をします

歯科医師

歯科治療を通じて食べられる口腔になるお手伝いをします

管理栄養士

必要な栄養量を計算し、利用者様の嗜好にあった栄養ケア計画を立てます

歯科衛生士

口腔衛生を保ち、口腔機能を高めるお手伝いをします

当施設では

- ・
- ・
- ・

のメンバーも参画しております！

介護支援専門員

ご希望を伺い、食事に関するサポートのご説明をします

ご高齢の方のよりよい食生活をサポートするためには、たくさんの職種がそれぞれの専門性を活かして、包括的に検討する必要があります。利用者様のお身体の変化に合わせて、安全に、かつ美味しくお食事が出来るように、リハビリテーションや支援を提案させていただきます。



介護保険施設にはいろいろなタイプと支援の形があります

急性期病院
など



介護療養型
医療施設

長期の療養が必要な利用者様が、穏やかに暮らせるように、医療や介護、リハビリなどを行う施設
食事の支援は
⇒ ② 機能維持・QOL向上プラン

介護老人保健施設

利用者様の自立を支援し、ご自宅に帰ることを目指すためにリハビリテーションや介護などを行う施設
食事の支援は
⇒ ① 機能回復・向上プラン

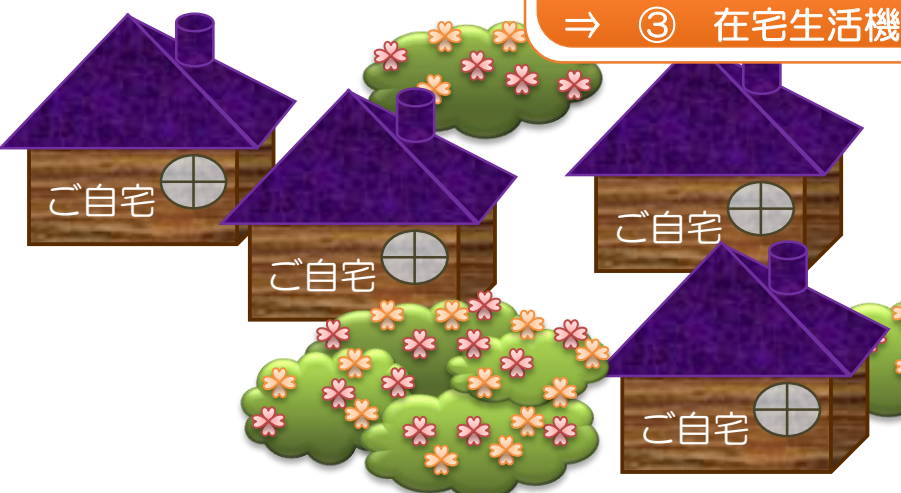


介護の必要な利用者様が穏やかに暮らせるように、機能を維持するリハビリや介護などを行う施設
食事の支援は
⇒ ② 機能維持・QOL向上プラン

介護老人福祉施設
(特別養護老人ホーム)

リハビリの
ための再入所

ご自宅から通い、自立した生活を維持するためにリハビリテーションなどを行う施設
食事の支援は
⇒ ③ 在宅生活機能維持・QOL向上プラン



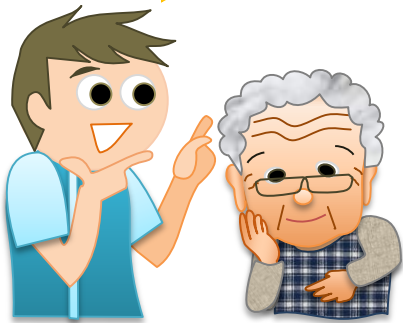
通所介護
事業所



食事の支援は適正を見極めて

在宅復帰して普通のお食事を食べることがお望みでも、体力によってはリハビリテーションを頑張ることで体力低下につながってしまうことがあります。口腔の状態や栄養状態を見極めて、プランを立てることが大切です。

私たちはこのようなことを考えて提案しています



お口の機能や歯の状態は、咀嚼に適しているか？

お口の渇きや衛生状態は、支援が必要な状態か？

全身の栄養状態はトレーニングに適しているか？

① 機能回復・向上プラン

お体の状態、機能、ご希望に合わせて機能回復のためのトレーニングや栄養補給の計画を立てて支援を行います。

Aタイプ

体力があり、普通のお食事を食べるためのリハビリテーションをすること、在宅復帰に意欲的な方

入院や病気などでいったん低下してしまった体の機能をご自宅で暮らせるように積極的に機能回復をしていきます。口腔の機能が低下している場合は、歯科治療や筋肉をつけるような積極的なトレーニングを行い、また筋肉を増強するのに必要な栄養素を積極的に補っていきます。ご自宅に戻ってからもご自分で取り組めるような指導もいたします。

Bタイプ

リハビリテーションに取り組みながら、普通のお食事に近づけていきたいというご希望の方

入院や病気などでいったん低下してしまった体の機能をご自宅で暮らせるように体の調子を見極めながら機能回復をしていきます。口腔の機能が低下している場合は、歯科治療や口腔機能トレーニングを行い、また必要な栄養素を補っていきます。ご自宅に戻ってからもご自分で取り組めるような指導もいたします。

👉 Check it out!

食欲低下
と
栄養低下

加齢や認知症などのご病気が進行すると、様々な支援、アプローチを行っても、食欲が低下し食べられなくなってしまうことがあります。ご本人が食べようとしないうちに無理に食べさせようとする、安全な食事ではなくなり誤嚥や窒息、そして誤嚥性肺炎の原因になります。

私たちのチームでは、こうしたリスクも考慮して、利用者様ご本人の尊厳や人生に対して、最善の支援をしたいと考えています。

② 機能維持・QOL向上プラン

Cタイプ

療養生活を送りながら、無理せず穏やかに食生活を楽しまたいというご希望の方

療養生活が長く体力が低下して、負荷のかかるリハビリテーションは難しい、また認知症などで複雑な運動が難しい方には、日々の生活を楽しめるような支援を行います。口腔の機能が低下している場合は、歯科治療や口腔衛生の支援を行いながら口腔体操やレクリエーションで口腔の機能維持をはかり、負担の無いように必要な栄養素を摂れるような食事の工夫を行います。食事に集中できるような姿勢や環境整備などの工夫も行いながら、ご本人の体力、食欲に合わせた支援を行います。

③ 在宅生活機能回復・QOL向上プラン

Dタイプ

ご自宅の生活を送りながら、家族と同じように食べて生活したいというご希望の方

リハビリテーションで回復してご自宅に帰られた方の体の機能を維持できるようなトレーニングを行います。口腔の機能を維持できるようにレクリエーションを交えながら口腔機能トレーニングを行い、必要があれば歯科治療をお勧めすることもあります。また必要な栄養ケアについて情報提供を行うこともあります。ご自宅でご自分で取り組めるような指導もいたします。